

諸福小だより

大東市立諸福小学校
令和元年7月3日(水)
校長 小林 享子
072-873-5816

学ぶことが楽しいと感じられる授業づくり

「学ぶことが楽しいと感じられる」という視点を大切にしながら、集団で支え合い学び合う授業づくりを目指し、「音読・試写による語彙力・文法力・読解力を高める授業」～自ら活用し、表現できる子～をめざしていくという目標で研究科目を国語科に設定し、児童が身につけた基礎的・基本的な知識や技能を有効に使い、自分なりに表現し、説明する力をより伸ばしていきたいと考え、学校全体として「表現力の育成」に焦点をあて、取り組んでいます。今、各教科等の目標や内容など、教育課程の基準を定める学習指導要領が、改訂に向けて検討されています。授業の中で音読や視写に取り組みながら、語彙力・文法力・読解力を鍛えていく”シンプル授業“について研究を進めていきます。よりいっそう、子どもたちの「わかりたい」「できるようになりたい」という学ぶことへの渇き感と問題解決力を高めることができると思います。あわせて、子どもたちの学ぶことの充実感が高まり、学ぶ意欲もさらなる高みへと向かうのではないかと思います。また、確かな学びを育む学校づくりを推進事業の取り組みと連携しながら、学習習慣・学習規律に共通理解を図るとともに、家庭への推進も行うことで、児童の基礎基本の定着をめざします。さらに、日々の取り組みに加え、「朝学・朝読」「モジュール学習」「学力テストや諸福チャレンジテストの実施・分析」等を充実させ、多面的に取り組み進めていく中で一人ひとりの学力向上をめざします。

小中合同校内授業研究会(諸福中校区)

6月28日(金)、6年3組、有馬学級で諸福中学校の教員に小学校にきていただき、小中合同校内授業研究会を実施しました。校内授業研までの模擬授業や指導助言を指導講師として、昨年に引き続き、元寝屋川市立桜小学校校長にいただき、国語科の授業、『笑うから楽しい』『時計の時間と心に時間』の単元で、①筆者の主張と根拠を読み取り、自分の経験を振り返り、自分の考えを持つことができる。②筆者が伝えたいことを読み取り、簡潔にまとめて小見出しをつけることができる。③筆者が結論に至るまでの過程について、文章の構成を理解することができる。を単元目標に授業を展開していきました。その後、小中合同で交流会を行い、活発な論議が交わされました。



授業風景



交流会・討議会



「薄さ5ミリ、わずか30グラムの軽さです」～伝え合う力～

人に何かを説明することが多いのですが、何度も繰り返してみても大変難しいものだと、いつも反省することが多いものです。まして、子どもに説明するときには、わかりやすく、難しいことを優しく噛み砕いて説明する「説明力」が求められます。

さて、標題の文章は、「薄くても軽い時計がほしい」という場合の、望ましい説明の例です。「この時計は、5ミリで、重さが30グラムです」と答えてはいけないのです。違いがわかりますか？

時計を買いに来た人は、どんな時計を求めているのでしょうか。多くの人は、今自分の持っている時計より「薄い」「軽い」優れた時計を求めています。ですから、「薄い」「軽い」ことを表現してあげることが「相手を考えた対応」と言えるのです。相手の言葉をそのまま返すことがよい対応であるというわけではありません。相手の気持ちを受けとめることが大切だということをお伝えしたいのです。

学級の中で、子どもに、「ぼく、勉強したくない」と言われたことがあります。さて、どう答えたらよいのでしょうか？この場合「どうして？」と質問することはよくないと言われています。せっかく子どもが自分の気持ちを伝えようとしているのに、否定することで、人間関係が切れてしまうからです。では、どのような対応がよいのでしょうか？

「そうか、勉強したくないんだ」と肯定する。相手の気持ちをうけとめることがよいとされています。これは、ある小児科のお医者さんからお聞きした回答です。まずは、相手の気持ちを認めること、子どもの気持ちを受けとめることから始め、その後、「勉強すること……こんなにいいことがあるぞ」「こんなこともできるようになるぞ」と子どもが見えていなかった未来や次に来る楽しさをイメージできるように諭すのです。自分になりたいものに近づけるイメージを嫌がる子どもはいません。「そうか、続けるとこんなにいいことがあるんだ。やってみよう」と挑戦する子どもが増えていくことでしょう。

私たちは、子どもたちが自分の夢や希望に向かっていくための基礎的な力を育てていかなければなりません。子どものすべての学びの場面で、「伝え合う力」を小学校の学びのテーマと考えていこうと思います。一人ひとりが、相手の気持ちを考えながら、自分が伝えることとともに相手の話もしっかり受けとめられる「伝え合う人間関係」を育てていきたいと思っています。

大東市教育委員会からのお知らせ

介助員 募集!!

大東市教育委員会では、介助員を募集しています！

大東市の公立小学校・中学校の支援学級に在籍する児童生徒に対して、学校生活における生活介助等を業務内容とします。資格等は問いません。

小学校や中学校での勤務ですので、児童生徒と同じく夏休み・冬休み等の長期休業もあります。ご興味のある方、下記までご連絡ください！！ 給与面や服務形態を含めて、お伝えさせていただきます。

【問い合わせ先：大東市教育委員会 教育政策室 072-870-9643】